

日 時：2024年 2月 21日 (水) 13:30 – 17:10
場 所：九州大学 稲盛財団記念館1F 稲盛ホール
(伊都キャンパス：福岡市西区元岡744)
参加費：無料
参加申込：当日受付

【プログラム】

13:30-13:35 主催者挨拶・研究会の主旨
村上 恭和 九州大学 超顕微解析研究センター長

【第1部】データ事業の強化・拡充に向けて

13:35-14:05 「多元素ナノ合金の第一原理計算データベース：
活用事例とサイバー物質科学への展望から見すえたデータ整備」
古山 通久 信州大学 先鋭材料研究所 教授

14:05-14:35 「文科省DxMT事業による二酸化炭素分離回収材料開発構想のご紹介」
星野 友 九州大学 工学研究院 応用化学部門 教授

14:35-15:05 「先端計測技術からみた実験データの定量性と取り扱い」
杉山 昌章 大阪大学 超高压電子顕微鏡センター 招聘教授

15:05-15:20 ————— 休憩（15分） —————

【第2部】次世代ナノスケールマテリアル領域の取り組み

15:20-15:40 「生成系AI,プロンプトエンジニアリングの材料分野への期待」
小野 謙二 九州大学 情報基盤研究開発センター 教授

15:40-16:10 「カーボンデータベースの設計と今後」
藤ヶ谷 剛彦 九州大学 工学研究院 応用化学部門 教授

16:10-16:30 「信州大学スポークにおけるデータ収集へ向けた取り組み」
橋本 佳男 信州大学 先鋭材料研究所 教授

16:30-16:40 ————— 休憩（10分） —————

16:40-16:55 総括：高価値なデータベースの構築に向けて
村上 恭和 九州大学 超顕微解析研究センター長

16:55-17:10 「九州大学学術研究都市の紹介」
本田 一郎 (公財)九州大学学術研究都市推進機構 産学連携主幹

.....
17:30-19:30 談話会：レストラン イトリー・イト（椎木講堂 2F）

主 催：九州大学 超顕微解析研究センター
文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ(ARIM) 九大ハブ
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)

協 賛：日本電子株式会社, 株式会社 日立ハイテク,
サーモフィッシャーサイエンティフィック, 株式会社 メルビル

お問合せ：九州大学 超顕微解析研究センター
マテリアル先端リサーチインフラ 事務局
TEL : 092-802-3489 / E-mail : nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp